京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年[illegible]
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金[illegible]▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

米清兩國の接近

▲頗る ▲諸官 ▲洵貝勒渡米の結果如何

……に清國合併條約に刺激され益々米國に接近せんとしつゝある清國の行動は最も世上の注目を惹き外電は早くも米國ペンシルヴァニャ州のベツレヘム會社が清國軍艦建造の契約を締結せんとすと報じ又洵貝勒が大統領タフト氏に贈るべき七個の秘密函を携帯せる趣を報じ來りしが某外交家は曰く清國が近來米國に接近せんとしつゝあるは事實にして今回洵貝勒渡米の結果が此消息を益々明確ならしむるものあるは疑を容れざる所なりベツレヘム會社が清國軍艦建造の契約に調印せんとせるとについては未だ確報に接せざれども米國は夙に清國軍艦の建造を引受けんとしつゝあれば或は事實となるやも知るべからず而して米國政界の近狀を觀るに大統領タフト氏は就職當時に於て對清發展を畫策したるにも拘らず爾來總に專獨川漢兩鐵道借款に加入し得たるのみ河南省鐵道投資の計畫は遂に成功するに至らざりしのみならず滿洲鐵道中立提議の失敗は對清活動上に一頓挫を來さしめんが爲め國民の大統領を信頼する念薄らぎつゝあり政府の立場として此際清國に對し一發展を企てざるべからざる必要に迫れる折柄清國側にては頻に米國に接近せんとを希望し殊に一部の排日論者は盛んに米清同盟說を流布しつゝあるより米國は之を利用して清國に接近し以て其利權を獲得し國民の信用を回復せんとしつゝあり尤も米清同盟說の如きは全く空論にして米國政府も之を真面目に認め居らざれども同盟說は清國に最も喜ぶ所にして之を利用するときは米國のために頗る有利なれば米國側よりも往々同盟說を流布しつゝあり何れにしても洵貝勒今回の渡米は米清の接近に資する處大なるものあるは勿論にして其結果如何は最も注目を値すべきものあり云々

滿洲移民と經費

東三省總督は滿洲移民を獎勵したる結果湖北省各地の貧民等は競うて移住し來り既に一万に達したるも資金なきを以て飢渇に瀕するもの續出し錫總督は新に荒蕪地を開墾せしむることゝし本年より明年秋の收穫季迄家屋建設、農具購入費其の他雜品及び食料代として一戸に付費用五百元の割合を以て十萬元を立替へ支出することゝしたるも其餘四十四萬元の經費は目下湖北路議局に於て議論中也と

●多望なる木浦綿花

木浦綿花は今や長足の勢を以て發展しつゝあり目下の作反別は既に千五百町歩に上れるが來年度は更に十倍則ち一萬五千町歩に擴張さるゝ計畫あり元來同地の播種子は米國產を選用せしも在來の朝鮮種又た優等にして孟買產に讓らざるを發見せしが要するに同地方は綿に對しては無比の天惠を享受し今後の發展は真に刮目に値すべし併し同所に紡績の開始は尙ほ一考を要すべき事にして單に勞銀の低廉材料の豐富をのみ見込むべからず要は時間の問題也と

●内亂罪首魁の自首

東部警備坊城北洞九統十戸盧照乘は元侍衛隊第三大隊正校の職に在りしが去る四十年軍隊解散の際解免せられ爾來商業に從事し江原道鐵原方面を往復中十餘名の賊徒に擁はれ遂に其群に投じ推されて首魁となり常に八十餘名の部下を率ゐる各地を徘徊して兇行を逞ふせし著名の巨魁なり然るに四十一年頃韓帝の宣諭を拜讀し大に感ずる處ありて斷然暴徒の群を脫し一時開城に潜伏し居りしも官憲の嚴査愈々急なるより一日も其塒に安んずる能はざりしが今回併合條約發表に就き大赦の恩典ありしを聞き之に浴せんと欲し二三日前東部警察署に自首し出でたり而して當局者は懇々過去の不心得を諭し將來を戒飭して之を放還せりと云ふ

民團税の不納整理

京城民團に於ける徵税は既に第一期及第二期の納入告知書を發行し其調定額は二十餘萬圓を算するも第二期發行以來非常の不成績にして未納額十万餘圓を示めし居れり之が爲に民團に於ては歲入歲出の現計上粉からの逆算を生じ理事者は一方ならぬ苦心慘憺を極め居れり之が爲に明三日來夜業を開始して一大整理を遂行し不納の向に對しては假借なく國税滯納處分法を勵行すべしと云ふ

地方通信

木浦通信（二十三日）

▲濟州島の三椏 製紙業獎勵のため朝鮮農會が本春來濟州島畜牧場跡に經營せる約十町步の三椏は日本國は靜岡縣の紙同業組合の紹介によりて來れる山本伴次郎氏主任として之が監督に當り居りしが氏は本月十六日歸國するととなり其後任として臨時棉花栽培所の角本宗治氏赴任したり同園の成績を聞くに本邦發芽の當時に於て靜岡縣より交通不便の濟州島まで苗木を運搬するに多くの時日を要したるため幾分枯損のものもありしが管理其當を得たりしが爲に目下は新梢の長さは一尺四五寸短きも七八寸に伸長し居れりと

▲榮山浦と移民 東拓榮山浦出張所にては今回內地に於て水害を蒙れる罹災民五百名を限り近々移住せしむる答にて目下同出張所にては之れが爲め社員各地に出張し非常の繁忙を極め居れるが同出張所經營に係る宮三面に對しては約三百內外を移住せしむる方針なりと

▲楸子島の漁況 追々秋の漁期に近きつゝある當地にては目下潜水器を使用してサヾへ等を漁獲するもの沖鱠を釣るもの立網、流網を用ゐて鰯、鯖、大刀魚、烏賊を漁獲しつゝあり之等は凡て鑵詰、乾物、鹽物とす價格は每年一万圓以上に達す△從業者 目下內地人男女併せて七十餘名あれど盛漁期に至れば非常に增加すべし漁期當て込みに雜貨店三、飲食店二の開業あり△漁期は舊八月中旬より十一月中旬迄にて同島へ越年の內地人は昨年度三戶なりしも本年は多數增加せん△下楸子島には漁區を所有するもの內地人永田、新谷の二名朝鮮人一名あれど朝鮮漁民は勝手に漁區に出入し紛擾絕へず過般警備船の巡回說諭ありたり當地には雜貨店二、雜貨三、飲食店二、醫師一、諸菜二、運送店一あり

▲珍島方面農況 東拓事業經營地視察の爲め過般以來珍島花源半島の方面出張中なりし加戶東拓榮山浦出張所長の語る所に依れば珍島は古來より水旱害なき所なれど土地は概して本道より劣れり珍島、花源半島共に米作は豐作見込みにて棉花も決して不作ならず目下陸地棉は三分方開絮し在來棉は少しく遲れ點々開絮しつゝある珍島は氣候本道より廿日間遲れの例なりと云々

講談

大岡政談 越後傳吉 第八十四回 旭堂南陵講



藤「さうして、さて斯ういふことぢや

やが併しその別の上といふのは何程く高く附きますか、何らぬで……藤「これは何うも高く附きますからぬで……減多にやられぬことでございません、しろ私が一人儲けるのでございません、二十人の者が儲けるので、マア十兩は掛りますナ 庄「へーイ、願書一通が十兩…… 藤「その代りに貴方二十人の者が集り色々と心配したらうへ酒の一杯も飲んなりませんから 庄「ハアエラアこれでがすな……た早職十兩おやどよ早「れ前樣十兩ぐらゐの金で敗公事でも勝公事になるやうだつたらこりやア十兩ぐらゐ惜まないで出しなせいな 庄「さうかな、己れに疚しいところがあるから、到底庄左衛門が十兩出した、そして願書でも旨く書て貰ひ都合よく胡魔化さうといふ了見は淺間しいもの、藤兵衛は十兩の金を庄左衛門から受取と 藤「エヽ明日は確かに認めて參りますが今晚は仲間二十人が寄合ひまして一ッ二十八の智惠を捻つて申分のないれ

〳〵嘘言を吐け汝は大分憲地が惡いせチャンと乃公等ア次の室で立聽をして居たんだ、汝十兩と吹掛けたんぢやアねへか、口から出任せに別の上だと吐しやアがつて十兩取つたぢやアねへか 藤「オヤ知つてるのか ○「知つてるとも 藤「オヤ知つてるのか、いつて皆聽いて居たんだ、サア〳〵この通り朋友が來て待つてるんだ、サア出掛けやう 藤「一寸乃公も苦しいとこだから、この錢を使はしてくれ、後生だから ○「馬鹿ッ、あんな泡錢をば汝一人に使はれて堪るものか、着れ〳〵サア出掛けろ 藤「オヤ〳〵ぢやア一寸酒を飲むだけだよ △「分つてる〳〵何でも宜いよ、戶外へ出ると其所に待て居るのが七八人、併せて十人ばかりの手代が取卷いた 藤「こんなに多勢待受けられちやア幾金も殘りやアしねへが 一同「そんな吝なことをいふない、サア出掛けやう、番頭手代連中が揃つて纏て馴染の料理屋へ上り込んだ、何

がぞういふ風に書いたら宜からう、マア其點ぢやなど、マアれ茶を飲み菓子を食べ二十八の者が篤と考へます、詰り二十八の腦から絞り出して書上げたものが特別の上でございます、これが奉行さんの手に渡らうものならば敗公事でも地獄の沙汰も金次第、何う公事でも五臟六腑に泌渡るといふでもなりますので何方でも思召通りにいたします、少々ぐらゐ敗けて居る公事でもそりやア我々二十八の手代が相談をして書上げた願面なら勝つことは受合ひどんなことがあつても勝訴に違ひございません、と程よく說附けましたから、庄左衛門も元來已れが潔白なれば書く願面なぞは別に上も中もないが、已れの方に疚しいことがあるから、切て願書の書きやうでも巧いこと書て貰はねばと可否との考へから 庄「ハヽアそれは結構な事ぢ

奉行樣が、アヽ尤もちやといふやうな願書を認めますエヽ一寸事情を承はりませんと分りませんから、何ういふ工合の事情ですか下書をして參ります 庄「ハイ、それではどうぞ……庄左衛門が傳吉のことから自分の思ふだけのことを、ズーッと述べました、それを一々書取て 藤「何れ明日持つて參りますから、左樣なら、挨拶をして二階を降りて來た、階下に居るのは手代仲間二三人 ○「オイ〳〵藤兵衛ア、甘へことしたな 藤「ナニー甘くもねへや、あんな田舍者だからね、もう少し出るか知らぬと思つたらいけねへや、矢ッ張り錢足らずと見ねる ○「嘘言吐くねね 藤「實際だよ、例の通り持込んで見たらではどうぞ、宜しうと斯う吐しやアがつてヱヽ普通の一寸宜いのだ、ナニ仕儀がねへちやアねへか、ホンのマア酒を飲だくらゐだ ○「ヤイ

しろうの時分の十兩ですから隨分使ひ榮があります 一同「持て來い〳〵」といふので酒を飲始めた、藤兵衛も勢ひに乘て煽り込んだから好い鹽梅に酩酊した、すると誰が誂へて置いたのか藝者が十挺來た

東京電報

●副統監の歸任延期　山縣副統監は夫人令嬢同伴にて本日歸任の筈なりしが風邪の爲め延期せられたり（廿八日）

●副統監の出發　山縣副統監は本日午後三時三十分新橋發夫人令嬢同伴歸任の途に就かれ親戚知人等多數見送り盛なりき（廿八日發電）

●各道長官の人撰　各道の長官には內地に於ける休職知事中より撰擇して任命せらるゝ者多からん（同上）

●關稅協定の曙光　關稅協定の爲め無條約の狀態を維持し居る英米獨佛の諸國も雙互貿易に影響を來すを見て有利の條約を締結せんとする意思を生ぜり外務省にては改正の參考に資する爲め此等の狀態及び理由を調查し公表すべし（同上）

●米淸兩國の接近　日露協約後滿洲に於ける兩國は同一歩調を執り地位安全策をなしつゝあるに對し米淸兩國は互に接近せんとし近く數[illegible]（同上）

[illegible]者は語れり

雜報

●陸相の軍隊檢閱　寺內統監は陸軍大臣の資格を以て二十八日午前九時三十分龍山軍司令部に赴き夫より騎兵隊砲兵隊等諸部隊を檢閱したり陸[illegible]松永師團長[illegible]午後歸邸せり

●石塚參與官出發　石塚參與官は明日出發任地に赴く途につくべし（同）

●判事の勅任昇叙　平壤地方裁判所長西平氏は高等官二等に昇叙せらる（同上）

●總督府の取調局　新官制に於ては總督府取調局といふを新設し[illegible]調查會の規[illegible]性質のもの[illegible]舊慣等の取調[illegible]官制に依れ[illegible]の事なり

●無線電信の裝置　朝鮮沿岸の無線電信は目下木浦、靑島[illegible]裝置中に[illegible]竣成の[illegible]觀測[illegible]にて落成の上は朝鮮、本土間の公衆通信機關として多大の効果あるべしと當局

虎疫發生と訓電

黃海道に六名の虎列拉患者發生して以來續發の徵あるを以て警務總監部は二十七日宮尾軍醫及岡本警部を發生地に急派せしめたるが廿七日又々平壤にて八名の患者發生せる旨同地警察部長より警務總監部に急報ありたるを以て廿八日明石總長は左の如き訓電を發せり

既發虎列拉豫防に付ては左の如き注意を要す此の趣旨を貫徹せしめ尙ほ十分警戒すべし

一、此の際平壤停車場に於ては一切飮食物を販賣せしめざる事

一、大同江岸發着地附近及其の下流に於ては蔬菜其の他の洗滌を爲さしめざる事

一、交通遮斷區域は第一線第二線として第一線內は嚴重なる遮斷を爲し第二線內のものは可成旅行等を爲さしめざる事

香椎宮と記念葉書（矢野業務課長の談）

今般當局に於て朝鮮總督府始政紀念の爲め記念繪葉書二種を發行したるが其一種は神功皇后と香椎宮にして他は內地及朝鮮の兒童遊戲の圖なり今左に香椎宮に關して調查したる二三の事項を述ぶべし

一、香椎宮には神功皇后を奉祀す　香椎宮は筑前國糟屋郡香椎村にあり其祭神に就ては數說あり或は仲哀天皇なりと云ひ或は神功皇后なりとも云ひ或は又仲哀天皇及神功皇后なりと云ふ諸說何れとも決し難しと雖も神功皇后なりとの說多數なるが如し余は此の多數說を信ずるものなり

二、香椎宮は三韓より神功皇后を奉齋せるものなりとの說

神功皇后の新羅御征討の時代は皇紀一千〇二十四年の頃にして當時日本朝廷の威力頗に揚り韓士は絕對的に我宗主權の下に服從し居りたるがため三韓の上下は神功皇后を長敬尊崇奉りし結果大后の御靈を香椎宮に奉齋したるなるべしとの說あり本居宣長の古事記傳三十に此說を記述しあり

三、香椎宮の祭日と日韓併合條約發表の日

官幣大社香椎宮の祭禮は例年十月二十九日に行はるゝことなるが過般の日韓併合條約は八月二十九日を以て公表されたるを見れば即ち其月を異にするも其日に於て等しく廿九日なることゝ恰も併合條約は大神の託宣の如き感なくんばあらず

四、朝廷より新羅事件の爲に香椎宮に奉告又は奉幣せられたる例あり　續日本書紀廿二に「天平寶字三年八月遣太宰帥船親王於香椎廟奉應伐新羅之狀」の文字あり、又同廿四に「同年十一月遣參議藤原朝臣巨勢麻呂散位土師宿禰犬養、奉幣于香椎廟以爲征新羅調習軍旅也」などの記事あり之れを以て見れば我朝廷に於ては新羅事件の爲め香椎宮に奉告又は奉幣せられたる例あるものゝ如し以上の外猶ほ調查し得たることも少からずと雖も今は述べざるべし只右に述ぶる所に依るも神功皇后と香椎宮との記念繪葉書の如きは朝鮮總督府始政記念として好箇の記念物たる所以を明にし得べしと信ず云々

●關釜間の聯絡設備　鐵道院にては韓國併合後及安奉線開通後に於ける關釜聯絡航路旅客貨物の激增すべきを期待して同航路を擴張すべく來年度に於て三千噸の聯絡船二隻を新造するの外來年五月竣成すべき度支部の事業に係る釜山棧橋と相待ち下關にも棧橋を設置することに決し其の費用は之を來年度豫算に計上したる由なるが其の內容は現在の關門聯絡船發着所を埋立て同所に長さ九百尺、幅六十尺の棧橋を設置し更に驛より棧橋まで普通の橋を架設し一般旅客は之に由りて驛と棧橋間を往來し又貨物は海岸に沿うて棧橋附近まで貨物專用線を敷設し埋立地內に二個の倉庫を建て輸出入其一旦同倉庫に納入し一應檢查の上發送せしむる設計にして同海岸一帶は遠淺なるを以て內務省に於ても關門海峽の浚渫を行ひ以て船舶出入の便を圖るべしと

●解散當時一進會員　解散せる一進會の會員名簿の現況を聞くに總員十四萬七百二十五名にして之を細別すれば、本部三千二百名、京畿道三千八百六十二名、忠淸南北道二千三百七十名慶尙南北道二千六十五名全羅南北道千七十三名江原道四千十九名咸鏡南北道一萬四千五百六十五名黃海道七千四百六十七名平安南北道九萬三千七十九名西間島七十八名なりと云ふ

●會計統一と憲兵隊　朝鮮に於ける總ての官衙の會計は前報の如く總督府會計局に統一さるゝこと確定し來る三十日を以て全部引繼を了する方針なるが獨り憲兵隊の會計は陸軍省經理局の直轄に屬し居るなれば之を同府會計局に統一すること能はざるなれば憲兵隊のみは獨り會計課を特設することゝなるべしと云ふ

●石塚參與官は總裁　別項新設の總督府取調局は總督府中樞院の重要の地位にあるは其管掌政務の上よりも明かに認むる所なるが斯くて其總裁には石塚參與官任命の事に內定せりと云ふ

●中樞院議長の內定　既報の諮詢機關たる中樞院には議長、顧問、賛議、副賛議を置く筈なるが議長には山縣政務總監任命され以下は朝鮮人を舉げて是れに充るべき方針也と

●裁判所の淸語書記　領事裁判權消滅の結果在留外人は總て吾法權に服する事となれるを以て司法廳は今回支那人在留の最も多き地方裁判所には淸語通譯を兼ぬる書記を配置すべしと

●總督府官吏增加俸　新官制施行後の總督府官吏の增加俸は高等官十分の四判任官十分の六以內を給する事となれりと

合併後の產業振興策（十一）
十八銀行京城支店支配人　中西喜久男君談

既に先輩諸氏に依て說き悉されてゐますね、吾輩チヨシガーの容喙すべき餘地は無いようです、併し是非に話せとあれば定に以て止むを得ない、少しく話しさせう、

產業の振興を圖るには、第一に經濟道路の開通、第二は資本の招致、此の二つの必要事項に關しては世に定論があるので今更論議するにも及ばぬ事ながら、唯資本の招致に就ては聊か注文がある、夫れは資本を朝鮮に移入するとしても無闇に內地の兌換券を携帶に及ぶ譯のもので無い以上は、韓銀の發行高を殖すことになるのだ、韓銀の發行高を殖すには其の之れを爾らしむる原因が無くはならぬ即ち有利なる事業を起して資本の必要を生せしめねばならぬ、而かも有利なる事業を起すには資本を要する故に有利なる事業を內地に紹介して資本を招致する、此處だ吾輩の注文とは、韓銀の發行高を殖して資本を潤澤にしたいといふ事の結果を指すので無く、其原因を爲すべき有利なる利業を內地に紹介せねばならぬといふことだ、有利なる事業と云へば先づ農業、水產業、鑛業等多々あつて何れも有望なる事業であるが、是等を抽象的ならず具體的に、責任ある機關に依て調查發表せしむるは最も適當なる紹介方法と信ずる、一體內地に於ては朝鮮の事情が能く穿たれてゐぬのである新聞などには朝鮮の富源饒かなることを輪に輪をかけて發表する一方には、自己の失敗せる事實を以て例とし悲觀說を流布するものもあるが何れも中らない、因て產業調查會とやうのものを設けて信賴すべき報告を內地と朝鮮との双方に發表せしめたならば內地には安心して朝鮮に放資するものが出來ると同時に朝鮮では內地の實情を知て產業の方針を定め得ることになるのである、例へばカノ牛皮の如き、元山其他に組合を組織してゐるやうなれども、內地にては如何なるものが歡迎さるゝやは頓と無頓着で、朝鮮から買取つては移出する一方、之れでは困る、若し同業者が內地の實情を明かにすることが出來たならば、其處に歡迎さるゝ樣干燥法にも改良を加ふるは勿論、製革し需用に應ずることにもなるであらう、又朝鮮人や支那人の間に獨逸製の雜貨が太した信用を博して爲るが、此の有機を內地の製造者が知つたならば大に改良を加へて、需用を增さしむることになるだらう、如斯需用供給双方の消息を明かにするのは、產業の發達を誘起し、資本を招致するの原因となるのである、要之產業の振興策は多多ある中に、吾輩は何よりも先づ朝鮮の產業を調查し內地に紹介する一つの責任ある機關の設立を急務とするものである云々

園藝品評の成績（豐永審查員長の談）

朝鮮第一回園藝品評會の審查は去る二十六日より豐永審查長以下の審查の下に昨日を以て略ぼ終了したるが其成績に就き審查長豐永博士語りて曰く今回は朝鮮に於る園藝品評會の第一回也しを以て如何なる成績を舉るやに就て一同好奇心を以て期待され居たるが一般に其成績の優秀なるに驚きたり出品點數の多きは勿論先第一に今後當朝鮮に獎勵すべき考の園藝品が既に各地に栽培せられて多數の出品を見たること即ち大馬鈴薯及び薩摩芋の如きものにして是等は其需用大根其他の野菜の如く栽培地の一局部に限らず更に進んで輸出し得べき性質のものなるを以て當局は朝鮮園藝品として今後大に獎勵せん方針なりしなり要するに一般內地に於て見る可からざる良好の成績を舉げ慾の如き其他の蔬菜は實に珍とすべきもの少なからず由來朝鮮の慾は內地の夫れに比して甚だ振はざるが如く揣摩されたれども平均する時は遙かに內地產に勝れり今回は菓果、蔬菜を一部とし根菜、果實の三部に分ちて審查し居れるが其等級結果に關しては未だ調查中に屬するを以て茲に明言する能はず蓋し斯くの如き好成績を舉げたるは朝鮮に於ける園藝者が其種子の撰擇法當を得たるに因るものにして元來朝鮮に種子なきを以て內地に於ける園藝品の產地中最も著名なる處より買入るゝを例とせるより其生產物亦良好なるものならん云々

●會議所の臨時總會　京城本國人商業會議所に於ては定款改正、書記長選任、實業家懇親會準備委員選擧の件に付き二十七日午後二時より臨時總會を開議せしが今當日の狀況を記さんに定款に「書記長は會頭之を推選し役員會の同意を經て監督官廳に屆出づべし」とあるも元來書記長は重要の地位にして場合によりては內外に對し會議所を代表するものなれば尤も其人選に注意せざるべからず從つて獨り役員會のみならず總會の同意を經ざるべからずとの說を倡道するものあり多數の賛成を得て右定款に改正を加ふる事となり同委員として池田（長次郞）秋吉、小川、深水の諸氏を選任し斯て前記總會を開くに到りしが常議員五名全部則ち進辰馬、近藤佐五郞、古城龜之助、林田金二郞、中村再造の諸氏缺席せし爲め議會は成立せるも定款の改正は三分の二以上の出席者あり其三分の二以上の同意を得ざるべからざる規定に付き二十四名の內十六名の出席なかるべからざるに一名不足の爲め決議を爲すの權能なく小川改正委員より報告ありたれど終に正式の決議を舉げず結局同問題は其報告の如く新官制發布後の情況を見て來月下旬の臨時總會に附議する事となし又書記長は既に內定し居るものゝ如きも這は協議の末書記長は德義上定款改正後に於て愼重なる人選をなすべき事に定め懇親會準備委員を選定し散會せりと

●鴨綠江沿岸の產業　鴨綠江沿岸百里に涉る一帶は由來地勢嶮峻にして天惠甚だ薄きが如く想像され居たるも其山間溪谷到る處大豆玉蜀黍等農產物の穰々たるを見る可く其他生牛獸皮麻布等直接間接に土地の生產力に求むる產額の大なるは遙かに對岸淸國側に優るものあり且つ近時漸く世人に喧傳せられんとする柞蠶、蜂蜜、山葡萄、楓葉等利用改良の策を講ずるに於ては前途頗る好望なれどもしかも其產出額の全部は淸國人の掌理に支配せられ彼又更に形を變じて燒酒となり豆粕となりて再び移入し來るも朝鮮人は何等意に介せざるものゝ如く其他綿、油布、唐木、棉糸等苟くも加工したるものは一として淸人に仰がざるは無しこれ我產業上大に警戒すべきことにして今後大に是れが輸出入を防遏し朝鮮人は之が開拓より更に製產の實を舉げざる可からずと當局は慨慨し居れり

●懇親會の準備委員　廿七日京城本國人商業會議所の臨時總會に於て選定せし日鮮實業家懇親會準備委員は山口、中村の正副會頭、進辰馬、林田金治郞、古城龜之助、近藤佐五郞の六氏なり還は更に朝鮮人側に對する交涉事務に當るよし

●獨逸前拓相の消息　獨逸前拓相デ氏杉秘書官は廿七日午後十一時二十分豫定の通り新義州着鴨綠江建設事務所の新安丸にて直に渡安し富久壽旅館に投じたりと

●平賀工學博士用務　歐洲巡遊の歸途入京されたる平賀博士は今後の朝鮮產業上特に統監よりの招請に應じたるものにて實業教育及產業に關し獻策する處ありと尙ほ同氏は二十八日出發大阪に赴けり

●前農相趙氏の歸京　內農商工部大臣趙重應氏は故曾禰前統監の會葬の爲め上京中なりしが廿八日夜南大門着にて歸京したりと

●仁川水道通水開始　水道局にては過日中送水鐵管の掃除中なりしが二十七日迄に全部終了し二十八日より貯水池に通水する筈

●和田工學博士出發　和田工學博士は新橋へ向け廿八日午前九時南大門發南行列車にて出發せり

公人私人

▲並河修藏（合同汽船會社員）二十七日釜山行

▲関山勇（代議士）二十七日釜山行

▲並河理三郞（銀行頭取）廿七日釜山行

▲足立綱吉（阿波共同汽船支配人）二十七日釜山行

▲齋藤謙次（內部技師）二十七日入京旅館投

▲川村桃吉（東亞實會社支配人）二十七日義州より入京巴城館に投宿

▲佐藤剛藏（醫學士）二十七日平壤より入京山本旅館に投宿

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
廿八日	一四五、六三九、一一	三五五

▲仁川米豆取引所▼

▲前場（廿八日）十一月一節八圓七十四錢二錢七十錢一錢▲早引

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿八日）九月限寄十四圓八十二錢▲十月限寄七十五錢▲十一月限寄七十二錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲晉羽丸　廿九日鎭南浦より入港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿七日の分如左
乘車客　六七〇　下車客　六五三
乘車賃金　一八九五、八八

▲南大門荷物扱高　廿七日の分如左
發送　六七噸　到着　三一一噸
發送賃金　六三九、四二

▲龍山驛の乘降客　廿七日の分如左
乘車客　二〇七　下車客　二二二
乘車賃金　二九七、九八

▲龍山驛荷物扱高　廿七日の分如左
發送　七噸　到着　一九四噸
發送賃金　三七、六八

▲仁川商況（九月廿七日）

▲玄米　本日入津陸揚高は延安及白川四百俵餘りにして相場は依然軟弱を續け延安物九圓一二十錢白川物九圓三四十錢の見當なれども午前中は孰れも手合せ出來ざりき忠淸物入津なし

▲籾　海州百三四十俵の入津にて相場は弱含み四圓四十錢見當なるべし

▲小麥　海州百五十俵入津相場は持合の姿にて並物六圓十四五錢見當なり

▲新大豆　汝山物新大豆十二俵の入津ありて御祝儀商ひとして十圓にて手合せ出來たるが乾燥品質共に昨年に比すれば非常に良好なり

朝鮮棉花の前途（棉布製造會社重役談）

歐洲の棉布界を觀察し西伯利亞線より歸途京城に立寄られたる京都布製造會社重役藤村氏の談左の如し

予が始めて歐洲を巡遊したるは曾て年の昔なるが僅々旬年の今日に比すれば商工業の發達は眞に驚くべき發達にて就中獨逸の如きは實際に絕せり[illegible]も事々物々學理に基き那處も組織的[illegible]步武整々陣立を備へ堂々として世界商工界を跳飛する目覺しさは何に[illegible]べきなし予が視察の重要事項なる棉[illegible]製造は歷史古く且つ老熟を極める[illegible]英國は一段の觀あり其最近五個年間平均產額は單にマンチエスターのみにて年額十億一千二百萬圓に上りしと[illegible]異に驚くべからずや總して英國の[illegible]は外見よりも耐久を專一とし獨逸[illegible]反して耐久を二段に措き外觀を衒[illegible]は價實を倘び一は價低きを誇る而[illegible]是尊兩雄の戰場は印度及支那にして[illegible]の東洋の大舞臺に火花を散して鎬[illegible]戰の狀態は眞に天下の壯觀なり翻[illegible]日本を觀るに是亦た長足の進步を[illegible]今後駸々發達の域に進みつゝあり[illegible]いへ前兩者に比すれは其及はざるも[illegible]し併しながら最近外產に仰く棉花は[illegible]既に一億八千萬の巨額を算し尙後[illegible]として止まざるの底にあり抑も我[illegible]棉布の中原たる印度支那には地理[illegible]勝を占むるの外勞銀廉く是が原料[illegible]くる無んば優に兩雄と覇を爭ふを[illegible]し今や新附の領土は極めて棉花に適[illegible]缺陷を補ふの利あり當局は茲に見[illegible]り目下千五百町步の耕地は更に來[illegible]を以て十倍に追年累加五十年迄に[illegible]五萬町步千餘萬圓の收穫を得べき[illegible]ありと聞く此新領土の經營として[illegible]多新財源のあらんかなれど吾等の[illegible]より見る時は事業の質實にして收[illegible]遠き恐く此右に出づるものなかる[illegible]歸國の上は更に專門家を勞して充[illegible]精査を遂げるの上手は力の容す限[illegible]に經營を試みんの志望あり因に氏[illegible]英中製布職工の大同盟あり現在の[illegible]八時間を六時間に縮むる上尙は一[illegible]增賃を提出せり事の決否は現に[illegible]吾國勞銀の如何に低廉なるやを[illegible]きなり云々

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿八日）九月限寄十四圓七十[illegible]▲十一月限[illegible]十一錢▲止來着▲十一月限寄十四圓六十二錢▲止來着

▲後場（二十八日）九月限寄十四圓七十[illegible]十一錢▲止來着▲十月限寄十四圓六十[illegible]節八圓七十錢一錢二錢▲三節七圓九十錢一錢▲出來高千七百五十石

▲仁川米豆取引所▼

●慶尙北道米收穫豫想　慶尙北道各郡より最近同觀察道に達したる[illegible]收穫高前年に對照すれば左の通りなり

	前年實收高	本年
作付反別	九六、六四〇町二	九八、七九五町五
收穫高	一、三八[illegible]〇九六石	一、五一二、三九三石
一反步平均收量	一石[illegible]	一石五三〇

これを前年に比すれば作付反別に於て二千百五十五町[illegible]收穫高は十二萬三千二百九十七石增收の豫想[illegible]

●東拓會社の蝦漁場　東拓經營の漁區は秋季に於ける絕好の蝦漁場にして未だ正確なる計數は舉げ得ざるも[illegible]初め夫の蝦漁場として有名なる有明灣[illegible]より熟練なる老漁夫を招致し實習せしめたるも[illegible]支那漁夫に托し目下[illegible]漁獲の上にも多大の收利あるべしと[illegible]住漁者に缺くべからざるもの[illegible]

▲大阪期米電報▼

▲前場 十八日 九月限寄十四圓七十錢 ▲止來前 ▲十月限寄十四圓六十錢 ▲後場 九月限寄十四圓七十錢 ▲十一月限寄十四圓六十二錢 ▲止來前 ▲十一月限寄十四圓

▲仁川米豆取引所▼

節八圓七十錢一錢二錢 ▲三節七圓九十錢一錢 ▲出來高千七百五十石

●慶尚北道米收穫豫想

慶尚北道各郡より最近同觀察道に達したる本年産米の報告に依れば本年の作付反別及收穫高前年に對照すれば左の通りなり

	作付反別	收穫高	一反歩平均收量
前年實收高	九六、六四〇町二	一、三八〇、〇九六石	一石四六〇
本年	九八、七九五町五	一、五一二、三九三石	一石五三〇

之れを前年に比すれば作付反別に於て二千百五十五町三歩を増し收穫高に於て十三萬二千二百九十七石增收の豫想

●東拓會社の蝦漁場

東拓經營の漁區は秋季に於ける絶好の蝦漁場にして未だ正確なる計數は纏り居らざるも…初め夫の蝦漁場として有名なる有明灣…漁撈の發展は是非共出漁にあらざる…漁獲の上多大の收利あるべしと



三坂通の鬼美人

▽軍人の生血を吸ふ

唯三坂通りと云つては判り兼ねるが例の中の新地より龍山練兵場の方へ二町餘りを進みたる所に**吾妻樓**と云ふ小料理店あり樓主と云ふは東京府生れ矢野てる(三二)と云ふ婀娜女なり此の女以前は東京新宿にて花柳名を何子と唄はれ粋を表看板に山の手紳士學生の間に相當に持て囃され居たるものにて其の又姉の**幾子**(二八)と云ふも同じ廓に藝妓勤めをなしたる强の者なるが去る頃妹のてる子が馴染客なる今の後援者たる何の勝次と云ふに落籍され渡鮮することゝなりしより自分も共に渡來して現の所に現の稼業藝妓仲居兼帶客の種次第にては**お閨の伽**も仕ると云ふ至極重寶に立ち働けば此れ計りでも吾妻は當歳今二三年も經てば直ぐ目の前の練兵場の拂ひ下げを願つてアノ廣い地面一杯の大金庫を建てるべしと噂さるゝ程なるに加へて女將のてる子も自ら陣頭に馬を乗り出して來る程の客を決して唯では歸さぬと云ふ勉强振りなれば流行は〳〵千客万來の大繁昌に**勝次**どん惚れて落籍した**女房が他人の自由**になるのは少々**不足**ながら地獄の沙汰も此れ次第と云ふ札が降るから**我慢**して樂られる如な氣持で先は〳〵ニコ〳〵もの之丈けなれば天下は泰平の筈ながら盈つれば缺くる風船玉に似た浮いた稼業柄、餘りに姉妹のものが發展するので容貌も藝も夫れに比ぶれば**ラッコと土龍**の抱へ**酌婦連**は來る日も來る晩も不景氣な面を空氣ランプの下に露してきりぎりす鳴く行く秋の夜風に髪の顔け打ちも二ほめられ二くされ三ほれられは通り越しての四風引きア、**ヲエ子ーコン**だの泣きつ面、平生でさへタント滿足に見ぬのだから茶で盤程に物好な蜂もなければ**アイテエ**ノシと云馴染も出來ず怨嗟外に洩るゝに至りしぞ是非なけれ、抑も此者は此年七月中中の新地**開盛樓**の支店名義にて開業せしものなれば料理は勿論妓樓等も一切本店より運び込み少々上筋の客は本店にては野暮な

臨檢除けとして此の方に送り込み居しものなるを樓を見るに敏きてる子は幾子とも相談の上本店から回る**上種の客**には惜しげもなく自ら進んで秋波と云ふ奴をザア〳〵と頭から打つかけ大抵は**擒**となしたるより茲に開盛樓の方へはダンマリで料理人から酌婦などをも抱へ込みまんまと獨立したるなりされば客筋も一粒撰りの軍人附枝多きを占め居るとかや中にも先頃**ピストル自殺**を遂げたる**某少尉**の如きは樓主てる子に深くも陷つた揚句の果てが定まりの不義理の借財に搦てゝ加へて惡疾に侵されしより己れが非行を悔悟して自ら死を遂ぐるに至りしなるが同人は初め吾妻の本店たりし開盛樓より臨檢除けの爲め送り込まれたるが縁となり遂にてる子の辣腕に引つかゝりたるものにて樓の女將さんは鬼の如な人だと盛んに取沙汰して居るさぞ、南無幽靈頓生菩提、

米國より懐郷病者

▽二十名送還せらる

米國より送還されたる發狂者二十名を乘せたる東洋汽船會社所屬日本丸は去る六日桑港を出帆し二十三日午後四時横濱に入港防波堤内第二區に投錨せり患者を收容したるは座敷牢式に造りたる船尾の三等船室なるが何れも故郷戀しさに發狂せる者のみにして亂暴を働く者はなく只時々『早く女房に會はして呉れ』とか『甲板に西洋人の女が待てるから出して呉れ』などゝ怒鳴り散らす位なりしといふ而して異郷に於て發狂し送還されたる哀なる人々は如左

愛知縣原田喜代松、同深見重五郎、東京府椎振猪知雄、山口縣綱田伊三郎、同小田宇三郎、廣島縣西新藏、同中村善吉、同石田小市、同春谷昇、和歌山縣小谷常三郎、同淸水仁藏、同中川秀三郎、富山縣中村喜治、同川村卯三郎、同縣林次郎、福井縣中村俊藏、熊本縣□□健藏、福岡縣宮樫益、滋賀縣松木市三郎

東操の大氣焰

▽海鼠は酢で持男は氣で持

目下壽座に開演中の改良講談師東操が二十七日の夜大車輪にての講演に一座水を撒ちたらん如く靜まり返りて聽き惚れ居たるときしも平土間にありたる一婦人の伴ひたる小兒の何にを離かりてや消魂ましく泣き出したるにぞれ定りのシーツ〳〵の制止は四方より起りたる中にも二階の一隅より引き摺り出せの罵聲が出でたるに忽ち彌次馬が之れに附和して引つ張り出せ〳〵とて騒擾を極むるより其の婦人は立つにも立てずオロ〳〵聲今にも泣き出し相なを舞臺にありて見居たる東操は大聲を振り絞つて曰く「子供衆は泣くものだ、子供の泣くより大供の騒ぎが八釜しい、子供に泣かれた親の心にもなつて見たら其様沒義道なことは申されまじ靜かにして居れば親御も落着いて騰さるゝから直きに默らるゝ先づ大供から靜かに居て貰いたいものだ、同情のないにも程が御座る」と威丈高に彌次連を睨み回したは大出來〳〵海鼠は酢でもつ男は氣でもつ京城ッ兒たるもの此所の所を買つて遣らざァなり申すまい

この頃の衛生

▽寢冷せぬやうに

神戸に發生した虎列拉が大阪市に侵入して暴威を逞ふし蔓延の兆がある更らに朝鮮にても沿岸に侵入せる形跡がある大に注意せずばなるまい、一體昨今は虎列拉に限らず胃腸を痛め易い時であるから寢冷ねなどして胃腸を弱うして居ると虎列拉でなくても各種の下痢を起し易い、胃には酸性の胃液があるから健康體でさへあれば万一虎列拉菌が入つても直に殺菌して呉れるが腸の粘膜はアルカリー性を帶びて居るから一度胃の中で殺し損ねて腸に來ると何の事は無い培養場に入つたやうなもので二十四時間を待たずに黴菌が發育して欣衝を起し下痢を催す、今年は脚氣患者が涼しうなつてから現れて居る故多少其の氣味のある人はよく〳〵注意すべきである、要するに秋の衛生は胃腸の衛生である、身體が冷ねると胃液の分泌が少く殺菌力が弱くなるゆゑ之を强くするのは何も高價なるフランネルにも當らない木綿の布に綿を包んで腹卷にして置けばそれで十分である。

不埒な建築業者

▽下請人を苦しむ

岡山縣岡山市下市町五十一番戸當時龍山漢江通り岡崎町土木建築請負業高橋常吉(三九)は明治四十二年六月頃農商工部廳舍建築工事入札の際東海組に落札せしを讓受け壽町三丁目木原德松に下請け爲さしめ請負金は度支部より五回に拂下げあるを以て拂下の都度讓渡す可き契約を爲し乍ら工事落成後に至るも支拂はず度支部より拂下金は鎭南浦築港工事に補塡し最初より欺罔の意思にて工事を爲さしめ二千圓餘を詐欺したる旨を以て告訴せられ南部署に於て取調の上一件書類は身柄と共に檢事局に送らる

●賭博犯人の處刑 京都府生れ龍山京町七番戸土木請負業長谷川元四郎(三七)奈良縣人當時龍山神明町人夫業松浪由藏(三七)他六名が九月十九日午前一時頃元町三丁目廿七番戸人力車帳場川田又藏方の挽子室に於て金錢を賭し賭博の現場を龍山署に檢擧せられ檢事局に送られしことは既報の如くなるが二十七日京城裁判所に於て長谷川松浪は各懲役六ケ月に高田梧林は各罰金三十圓若し完納せざるときは三ケ月間留置す可く前田近原及朝鮮人盧は不起訴となりたり

●運の宜い代書屋 咸鏡北道鏡城郡羅南若葉町代書業小山叔彦(二八)が若葉町明石梅吉より初瀨通り所有家屋を買受け更らに之を土屋よねなる者に賣却し敷地借地權の自分にあるを奇貨として立退を口實によねより金十六圓五十錢を恐喝騙取せんとして其筋に檢擧せられ咸興地方裁判所に於て懲役五箇月に處せられたるを不服とし京城控訴院に控訴したるより審理中なりし事は既報の通りなるが昨廿八日無罪の判決言渡されたり

●硯廿一個を盗む 廿四、五日の兩休日に龍山尋常小學校右側棟第二教室(尋常科第三年女組)兒童用の硯二十一個を窃取せしものありしにぞ廿六日は兒童が先生私の硯が在りません私のもと二十一名一同に呼び掛けられ始めて窃取せられたると判明し取調べたるも何の手掛りもなく廿八日校長より龍山署へ屆出たり

●四人組窃盗處刑 本年七月中春興同と云ふ啞者の朝鮮人を手先にし强窃盗を働き仁川市中を騒がせし松林洞生れ金演益(十九)金春植(二三)羅一鳳(十九)は當時既に逮捕せられたるが廿六日判決の結果啞者春興同を除き他の三名は何れも五年の刑を受け春興同は二年の刑に處せられたるよし啞者を處刑せしは之を以て嚆矢なりと

●戸惑ひ料理店主 龍山山下町の料理屋花家事鹽崎せい、一新事有本つるゑ、今春事吉村金太郎龍山柳町の松葉事出口いよの四は先に中之新地へ移轉すべき旨を憲兵隊へ屆出たる所中之新地は新築の許可なき爲め止む無く今度京城西小門外に移轉す可き事を四名連署屆出たり

●賭博して笞三十 南部苧洞酒店崔顯煥(四三)同洞職人朴勝三(二一)趙利善(四二)李致善(三七)李定九(二三)の五名は九月廿六日午後十一時二十五分頃崔顯煥方温突内に於て花札を以て煙草を賭し賭博を爲し居たる現場を檢擧せられ笞三十に處せらる

貧病者の自殺

西部盤松坊紅川洞二十六統九戸金顯灝方厠釜煥(四二)は廿八日午前四時附近の共同井戸に投身したるが原因は豫て肺炎に罹り居りしも貧困にして治療の途なきを果敢なみ自殺したる者ならんと

光宣門内の失火

二十八日午前十一時三十分頃南大門通り光宣門内漢城府民會事務所間口五間奥行二間の建物燒失十一時五十分鎭火したり原因取調中

●基督信者又人間 本月十八日基督信者の面汚しと題せし仁川内洞廿三戸崔鳳顯の妻鄭愛蘭は本夫より姦通の告訴により廿七日檢事局へ送らる

●敷島遊客 三十名にして消費金は九十四圓四十六錢なりと云ふ

▲**代診に雇はれたし**地方に細は面談一報次第參上すべし●姓名在社

目と耳

▲壽座 東操、三河屋當華連合口演會は日を逐ふて人氣を博し居れり二十九日の番組は何れも前日の續きなり

▲浪花館 如雲一座廿九日番組如左 塚原磬の太刀風(富士雄)後藤大阪入城(早川清)佐倉義民傳(雲若)明治白波官員小僧(九州男)義士銘々傳の内倉橋傳助前後二席(桃中軒如雲)

▲歌舞伎座 曾我の家其他合同劇

▲龍山座 金馬一座の手品音曲落語

今日の運勢

九月廿九日舊八月廿五日●九紫●友引●丁酉●建△一白●崩れ易き日とす談合仲裁婚談献立目論見に忌む旅行轉移見合せの事△二黑●請願談儀仕官就職起業開店に好し癡病衛生に留意すべし△三碧●家庭近親の事煩累あり其他會心の日大凡吉△四綠●快欣の日大抵吉色情痴情の破れあり△五黃●保證受印連盟連合連帶の事に忌む其他大抵吉△六白●新事見合せの事●建築土木林農業には吉△七赤●盗害横領の難あり又貸借及取引上違錯あり△八白●懸願無心に遭ふあらん其他盛運日●建築及金融の業務に尤も吉△九紫●諸事手控への事遺失及火の元用意の事旅行見合せたるべし(三一館判斷)

●天氣豫報 自廿八日午後六時 至廿九日午後六時

晴

廿七日 (華氏) 最高温度 七五、二 最低温度 五五、四

瀛船競賣廣告

一錦江號 總噸數四十四噸

右十月三日弊宅に於て競賣致し候に付き御希望の御方は同日午後二時御來車被下度候

仁川本町四丁目 山本回漕店 （電話五二二番）



京城旭町一丁目 代理店 丸正藥房 電話千四百番 振替口座二四〇番

硬質陶器特約販賣

一、食器改良の急先鋒たる硬質陶器の特徴は品質堅牢にして四五尺の高處より取落すも毀損することなく冷熱の激變に耐へて實用に適するのみならず高尚優美なるを以て料理店、旅館、陸海軍、諸學校、寄宿舍、諸工場の什器に最も効用あり

一、製品種目は西洋食器、日本食器、醫器等其他御注文に應じて調製す

石川縣金澤市長町河岸 資本金八十萬圓 日本硬質陶器株式會社

朝鮮特約販賣所 京城 旭町二丁目理事廳横 木村商店

會席料理 京城永樂町三丁目 大勉強 酒道樂 電話一二七六番

諸建築 ペンキ塗請負業 永樂町二丁目 渡部正美 （電話一〇二八番）

開店廣告

當商會はアポストル、フレッシャーシ、チヤスタース金口莨及葉卷各種其の他洋酒類御小賣共破格の勉強可仕候間御遊步旁々御來車の榮を給はり度此段謹告候也

（地方より御注文は何程に不拘御注文次第代金引替小包郵便にて御發送可申候）

アポストル會社代理店 フレッシヤーシ會社代理店 チヤスタース會社代理店

京城本町五丁目 土耳其エジプト煙草商會 ランブリーニテス

謹告

時下秋冷の候各位益々御清祥奉大賀候扨て生等角商會朝鮮支店在勤中は一方ならぬ御引立を蒙り難有奉深謝候然るに今度舊主商會支店閉鎖勿論生等も全部大阪本店へ歸任致すに都合さ相成居り候處未だ各位の御愛顧に報いるの期も得ず今更退去するも甚だ心外の至りに堪へず依て合意の上退居左記の場所に開業仕り殊更一層業務勉勵可仕候間舊倍の御引立あらん事此段略儀ながら紙上を以て御願ひ申上候頓首

明治四十三年九月二十五日

京城長谷川町一丁目四十九番地 福岡自轉車店 電話八七番

福岡彥一 比田信鐵

新案 和洋各物各種 丸たび 堅牢で廉價 峯の織

京城本町一丁目 丸 來原商店 電話四八三番

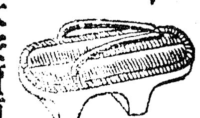
丸 出張店 京城本町五丁目 音吾楽入口角

資本金五百萬圓 神戶海上運送火災保險株式會社 出張所 京城明治町一丁目 （電話一五四九）

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本 諸官衙御用 播本商店 京城本町六丁目 電話百拾番

東京足袋



本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

明治町勧商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

院長診察毎日午前

自七時 至正午

龍山元町二丁目（電話一〇参番） 佐藤病院

胃腸病診療

院長診察毎日午後

自三時 至五時

龍山郵便局北隣（電話四〇八番） 佐藤病院出張所

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒純良 高等牛乳

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御遺物用牛乳切手發賣致候其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

京城南大門外 荒井牧場 （電話一〇五六番）

龍山本町三丁目 龍山販賣所 （電話二〇二番）

義齒術全般

京城旭町一丁目 齋藤英壽 電話一四一四番

京城相生町南門通橫 （電話一二九四番）

自午前八時 至午後九時

花柳病專門 附、痔疾一般 入院隨意

京城梅毒病院

院長 醫學得業士 蘆田耕平

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アシン 穀物食鹽 諸機械類

委託販賣

東京ランバード商會代理店

[illegible]

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 [illegible]

油口滑

時 納 仁川京城 販賣 高雄支店

やの字

古家屋、賣買、新古材木並トタン板、雨戶、障子類一式其他建築材料一切 古着、古道具、諸雜貨

京城本町七丁目京城座前 五十嵐建材料店 電話一千四百二十四番

純良消毒牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

本館 本町四丁目（賛化病院前）

特色 夜間撮影 河合寫眞館 電話一二六九

茲齋流割烹 すゞ津祢

南山町一丁目 電話千五百二番

公州 芙江 間出帆廣告

芙江發 每日後一時 京城方面ヨリ急行接續

公州發 每日前七時 京城方面行急行接續

（荷客共御取扱可申候） 御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候

瀛船出港廣告

月串、喬桐、海州行 天草丸

安來丸

船 成歡丸

隔日出港

仁川港海岸通（電話四一九）柴田回漕店

明治廿六年七月創立

東京火災運送海上保險株式會社

京城代理店 本町四 山口呉服店 電話九番

資本金一千萬圓 ●事務所・京城南大門通二 電話一〇六〇番

臨時水害救濟會寄附金募集廣告

今回の水害は近古未曾有の慘事にして其範圍頗る廣く東京神奈川、千葉、群馬、埼玉、栃木、茨城、福島、宮城、岩手、山梨、長野、新潟、靜岡、三重、愛知、秋田、山形、鳥取等の諸府縣に涉れり此等罹災地方の人民は或は其家屋を流亡し或は父母妻子離散し衣食の窮乏を訴ふるもの其數幾十萬人の多きに上る眞に痛嘆に堪へざるなり若し之を等閑視するときは飢餓に亟ぐに病疫を以てし悲慘の狀況日々增大せんとす豈急遽之を救濟せずして可ならんや是に於てか我々有志相謀り洽く天下の同情者に訴へ寄附金を募集して以て適宜各府縣に分配し救恤の資に供せんと欲す大方の篤志家諸君希くは本會の旨を諒し奮て此擧贊助せられんことを

明治四十三年八月

東京日比谷衆議院圖書館內 臨時水害救濟會

總裁 侯爵 松方正義

副總裁 長谷場純孝

副總裁 男爵 澁澤榮一

常務委員 益田孝 同 林田龜太郎

同 豐川良平 同 太田峰三郎

會計監督 中野武營 同 根津嘉一郎

同 佐竹作太郎

注意

一寄附金は金一圓以上の事

一寄附金締切は九月三十日限りとす

一寄附金は特に特定なき地方は左記宛便宜御郵送被成下度候

東京市日比谷衆議院圖書館內 臨時水害救濟會會計監督

弊館には夜警の設備あり

陸軍指定旅館

鐵道院指定旅館

仁川水產組合指定旅館

各保險會社指定旅館

御客樣の安全此の上なし

眺望の好き事仁川第一なり

仁川港 旭屋旅館 電話二五一

大勉、强!!!

薄利多賣の目的を大々的安賣仕り候間御小賣とも多少に不拘御用命の程伏而願上候

▲西洋雜貨、洋酒、食料品

▲各國煙草、洋菓子、化粧品

▲支那緞子、紋繻子、絹紬類

▲浦潮更紗、毛布類、食器

上等 食パン 製造販賣

支那織物は特に大安賣仕候

仁川港支那町（電話八一八番）

直輸入 御小賣 周 義生盛號

京城南大門通（電話一二三六番） 義生盛號

木浦各國居留地（電話一六九番） 義生盛號

釜山南草梁支那町（電話五六〇番） 義生盛號

長崎市梅香崎 義生盛號

本店 裕和盛號

奉天城內 營口永世街、 上海二擺渡 鎮南浦西門外、 芝罘 裕和盛

芝罘は日本一等旅館兼業

淸國支店